

地域とのつながりを強めたい(一)

武蔵野市立第一中学校 三年B組三十三番

板橋 里咲

テレビを見てみると、ご近所づきあいの苦労話やトラブルについて話題をよく目にする。しかし、私の家にはそうしたことはない。私も両親もあまり社交的ではないからかもしれない。これには、この街の地域性がよく表れている。つまり、地域のつながりが弱く、ご近所づきあいの少ないため、トラブルも少ないということだ。

つながりの弱さを実感することは他にもある。隣の家の方が一人亡くなった時、それに気が付いたのが一年後だったこと。犬の散歩中に出会って仲良くなった女性が、実は二軒隣りにずっと住んでいた方だったこと。私は正面の家の方と話したこともない。

その理由を考えてみる。まず、私は地域で行われる防災訓練やごみ拾い、お祭りなどに

積極的に参加してこなかった。参加したとし

ても、それだけが自分の家族や友達としか作

業しないので、つながりができなかった。ま

た、挨拶が少ないことも理由の一つだと思っ

た。近所さんの存在に気が付いても、そのまま

通り過ぎてしまっことも多い。あまり仲良し

でもない為、声かけにくいからだ。しかし、

これでは悪循環である。

地域とのつながりがなぜ必要なのか、と疑

問に思う人もいるだろう。しかし、よく考え

ると利点が多いことが分かってくる。まず、

助け合いができるという点だ。雪が降った

後、それだけが自分の家の前の雪のまきを必死

にしている光景を何度か見たが、近所の人び

ろしで助け合ったらどうだろうか。効率良く、

楽しく作業ができるだろう。日常でも、困った

時に相談できる第三者がいると助かる人も多

いと思う。地域のつながりは防犯やトラブル

防止にもつながる。異変があった時、最初に

気が付けるのは地域の人だ。つきあいがあれ

ば、異変に早く気が付くことか
 できる。さら
 に、助けも求めやすい。だが、
 つきあいか無
 く、通常の状態を知らなければ、
 異変にも気
 が付けない。メリツトはまだあ
 る。災害が起
 こり、避難した時、知り合いか
 多いのと全く
 いないのでは、どう気持ちか
 変わるだろうか
 かなかりは、時に安心感を与え
 ると言えら
 だ
 ろう。

このように、人とのかつな
 かりは生活を安全
 なものにした
 り、充実した
 ものにす
 る。お互
 いに助け合
 い、支え合
 いのできる温
 かな街。

それか
 っあた
 しの住
 みたい街
 だ。

そのよ
 うな街
 をつ
 くるた
 めに私
 か
 でき
 るこ
 とは、地
 域の人
 と積極
 的に関
 わり、つ
 なかり
 を強め
 ること
 だ。例
 えば、知
 っ
 てい
 る人
 に出
 会
 っ
 た
 り
 き
 ろ
 ん
 と
 換
 接
 を
 し
 た
 り、地
 域
 の
 お
 祭
 り
 に
 参
 加
 し
 た
 り
 す
 る
 こ
 と
 か
 下
 ぎ
 る。知
 り
 合
 い
 だ
 け
 で
 な
 く、犬
 の散
 歩中
 に犬
 を連
 れた
 人
 に
 出
 会
 っ
 た
 り
 換
 接
 す
 る、
 と
 い
 っ
 た
 工
 夫
 も
 下
 ぎ
 そ
 う
 だ。
 赤の
 他人、
 と
 い
 う
 関
 係
 下
 は
 な
 く
 知
 り
 合
 い

最終的には頼り合えるような関係をつくら
いきたいと思う。

その他にも、できることは沢山ある。ボラ
ニテ、ア活動に参加する、コミセニや地域の
商店を積極的に利用する、などだ。共通して
いることは、自分から行動しなければいけな
いというところだ。今の私を考えると少し難
しいかもしれない。それでも毎日少しずつ
努力していきたいと思う。

また、そうした中で、自分とは異った考え
や、知らなかったこととの出会いもあるだろ
う。それらはきっと私を成長させてくれる。
様々な人との出会いを楽しみながら、わた
しの住みたい街をみんなで作っていきま
い。